

## 記者会見連絡票

所属部署（さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－）

タイトル
平成29年度「第21回 栃木日展作家展」について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
<p>昨年東京の国立新美術館で開催された改組新第4回日展より、同展に入選、受賞した日展出品作家のうち、栃木県在住、在勤作家を中心に洋画、日本画、工芸美術、書を紹介します。特にさくら市には日展会員の洋画家杉山吉伸氏が居ることからも、栃木県を主とした地域文化芸術のさらなる発展を期する展覧会です。そして現代美術の現況を知り間近で鑑賞できるまたとない展覧会です。</p> <p>【会 期】 平成30年2月3日（土）～3月18日（日）</p> <p>【主 催】 さくら市ミュージアム・荒井寛方記念館</p> <p>【共 催】 栃木・日展作家の会</p> <p>【後 援】 公益社団法人日展、下野新聞社、栃木県文化協会</p> <p>【観 覧 料】 一般300円（210円）、高校・大学生200円（140円）、 小中学生100円（70円）、 さくら市内小中学生無料、 さくら市内在住の障がい者手帳をお持ちの方（同伴の介護者）及び 70歳以上の方は半額 ※（ ）内は20名以上の団体料金</p> <p>【休 館 日】 月曜日（2/12は開館）、2/13（火）、2/20（火）</p> <p>【開館時間】 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）</p>
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
<p>◇日展について</p> <p>「日展」とは公益社団法人日展が主催する全国規模の公募展覧会です（日本美術展覧会の略）。毎年、秋に開催される日本を代表する展覧会のひとつで、「日本画」「洋画」「彫刻」「美術工芸」「書」の5部門から展覧されています。昨年は応募総数11,581点あり、審査の結果2,225点の入選が決定しました。</p> <p>このたびのさくら市ミュージアムで開催する「栃木日展作家展」は厳選の結果入選した作品を中心に「日本画」「洋画」「工芸美術」「書」のジャンルから40作品を紹介します。</p> <p>◇注目作品について</p> <p>さくら市在住の日展会員杉山吉伸氏の出品作「錦秋茶白白衣譜」（洋画）をはじめ、身近な作家の作品を観ることができます。</p> <p>◇会期中のイベントについて</p> <p>●オープニングセレモニー 2月3日（土）13:30～</p>

●作家によるアーティストトーク（作品解説）

〈日本画・洋画・工芸美術・書〉2月3日（土）14：00～

●ワークショップ 《作家による実演・解説等》 ※観覧料で参加いただけます

2月12日（月・祝）13：30～14：30 《洋画》

” 15：00～16：00 《日本画》

2月18日（日） 10：30～11：30 《書》

13：30～14：30 《工芸美術》

※添付のチラシを参照ください

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－TEL 028-682-7123

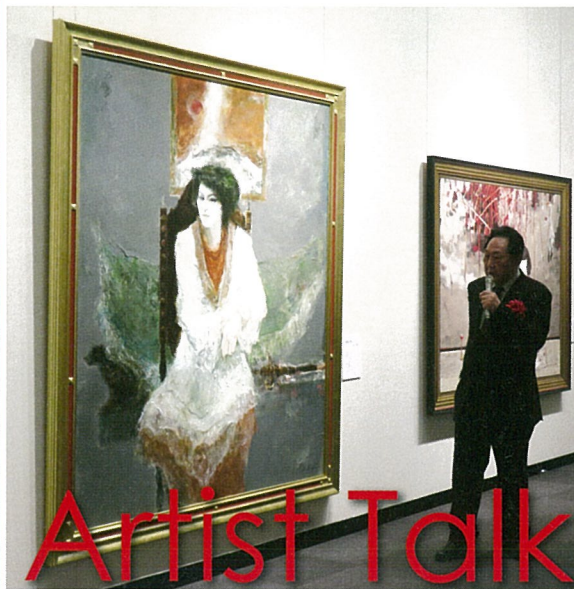
※ 1案件ごと1枚作成してください。

第21回  
**栃木**  
**日展**  
**作家展**

平成30年2月3日(土)  
 ~ 3月18日(日)

日本画 中村 眞  
 洋画 杉山吉伸  
 大谷喜男  
 小関修一  
 福田あさ子  
 松野 行  
 青木正子  
 岩本佳子  
 植野 悟  
 江口光興  
 加藤正士  
 門谷京子  
 齋藤勝美  
 佐藤洋子  
 高橋二美男  
 高山 充  
 時田治子  
 西村日呂子  
 蜂須賀美智子  
 増山久一  
 山崎幹雄  
 山根 隆  
 渡辺正巳

工芸美術 谷口勇三  
 林 香君  
 宇佐美成治  
 梅本上子  
 柿沼一郎  
 小林暁子  
 田中道子  
 福富 信  
 書 鈴木源泉  
 日賀野琢  
 赤澤寧生  
 磯 翠茗  
 川上鳴石  
 中里弘峯  
 福岡俊介  
 福富玲茜  
 松本純美代



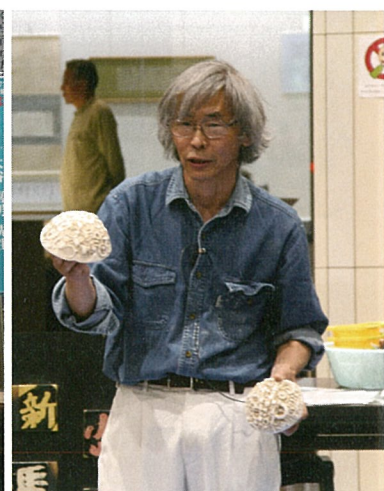
# Artist Talk



2/3(土) 13:30 ~ オープニングセレモニー  
 14:00 ~ 作家によるアーティストトーク<日本画・洋画・工芸美術・書>  
 ※観覧料で参加いただけます。



# Workshop



**ワークショップ**  
 《出品作家による実演・解説等》  
 2/12(月・祝)  
 <洋画> 13:30 ~ 14:30  
 <日本画> 15:00 ~ 16:00  
 2/18(日)  
 <書> 10:30 ~ 11:30  
 <工芸美術> 13:30 ~ 14:30  
 ※観覧料で参加いただけます。

料 金 一般300(210)円、高校・大学生200(140)円、小・中学生100(70)円  
 ( )内は20名以上の団体料金・さくら市内の小・中学生は無料。  
 障がい者手帳をお持ちの方とその介護者は半額。※割引の併用はできません。

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分までに)  
 休館日 月曜日(2/12は開館)、2/13(火)、2/20(火)  
 主催 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-、栃木・日展作家の会  
 後援 公益社団法人日展 JP、下野新聞社、栃木県文化協会

## さくら市ミュージアム - 荒井寛方記念館 -

〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297  
 TEL 028-682-7123 FAX 028-682-7854  
 URL <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/site/sakura-museum>

### 交通のご案内

自動車をご利用の場合  
 東北自動車道宇都宮インターチェンジより車で30分。  
 同、矢板インターチェンジより車で20分。  
 同、上河内スマートインターチェンジ(ETC専用)より車で20分。  
 鉄道をご利用の場合  
 JR宇都宮駅から東北本線(宇都宮線)にて3駅目、JR氏家駅下車。  
 JR氏家駅からタクシー乗車(約5分)。





＜サルナート想＞ 1978年 日本芸術院

# 松尾敏男展

～大観・南風・寛方の系譜を継ぐ～

平成30年3月24日(土)～5月6日(日)

このたびは、さくら市ミュージアム開館25周年を記念し、日本画家・松尾敏男(1926-2016)の展覧会を開催いたします。日本美術院を主要舞台に、生と死をテーマに斬新な作品を描き大きな反響を呼んだ1960年代から、瑞々しい牡丹の作品に代表される高い技術と崇高な精神性が宿る晩年の作品まで本画45点、素描7点ほか関連資料を展覧し松尾芸術の真髄に迫ります。また、氏の作品を軸に、師の堅山南風、南風の師匠である横山大観、そして当市出身で南風の友人・院展同人の荒井寛方を同時に展示し、それぞれの関連性と時代を紹介します。

## 開幕記念式典

3月24日(土) 午前11時～11時30分  
場所 展示会場(展示ホール)

## コンサート

3月24日(土) 午後1時30分～2時30分

オペラ歌手ならではの迫力のあるステージパフォーマンスと個性豊かなコーラスアンサンブルで、全国のコンサートホールで喝采を浴びる男性5人組オペラユニット“LEGEND”(レジェンド)。クラシックのみならず、様々なジャンルの音楽を独自のコーラスアレンジで表現し、多くのファンを魅了し続けています。

出演 オペラユニット“LEGEND”  
場所 展示会場(展示ホール)  
※申し込み不要 観覧料でご参加ください。



## 特別鑑賞会

3月31日(土) 担当：当館学芸員  
4月7日(土) 講師：松本高明氏(日本美術院同人)  
14日(土) 講師：齋藤満栄氏(日本美術院同人)  
21日(土) 講師：荒井孝氏(日本美術院特待 文星芸術大学特任教授)  
28日(土) 講師：宮北千織氏(日本美術院同人 文星芸術大学教授)  
いずれも午後2時から3時、観覧料でご参加ください。

## オープニングトーク

3月24日(土) 開幕式終了後午前11時30分～12時  
知られざる作品誕生のとおきのお話  
場所 展示会場(展示ホール)  
講演者 松尾由佳氏(松尾財団理事長)、  
那波多日功一氏(日本美術院同人・代表理事)  
※申し込み不要 観覧料でご参加ください。

開館記念の日・開館25周年イベント  
大町朋子ピアノリサイタル  
4月29日(日) 午後2時～3時  
場所 展示会場(展示ホール)  
※当日は終日無料開放



田井中将希朗読  
「松尾敏男 珠玉のエッセイ」  
5月3日(木・祝日) 午後2時～3時  
場所 展示会場(展示ホール)  
朗読 田井中将希(俳優)  
ピアノ 松尾由佳  
観覧料でご参加ください。



料 金 一般600(500)円、高校・大学生400(300)円、小・中学生200(100)円  
・( )内は20名以上の団体料金・さくら市民は半額、さくら市内小・中学生は無料。  
・障がい者手帳をお持ちの方とその介護者は半額。※割引の併用はできません。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分までに)

休館日 月曜日、第三火曜日、5月1日(火)。 ※GW(ゴールデンウィーク)中(4月28日～5月6日)は5月1日を除き開館

主催 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-

企画協力 産経新聞社

共催 下野新聞社

協力 一般財団法人 松尾財団、公益財団法人 日本美術院、さくら市ミュージアム友の会、寛方・タゴール会